

安全データシート

【1 化学物質等及び会社情報】

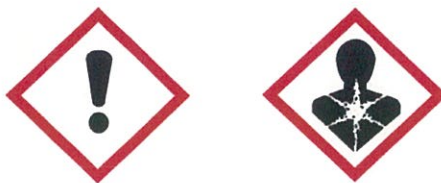
製品名	:	気化性防錆紙 NP-VCI-D(鉄鋼用・含浸タイプ)
会社名	:	菱江化学株式会社
住所	:	東京都中央区日本橋本町4-12-20
担当部門	:	生活産業事業部 生活産業営業部
電話番号	:	03-6861-0056
FAX番号	:	03-6861-0035
メールアドレス	:	
緊急連絡先	:	生活産業事業部 生活産業営業部
推奨用途及び使用上の制限	:	気化性防錆紙
整理番号	:	
作成年月日	:	2015年04月24日
改訂年月日	:	—

【2 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	:	爆発物	分類対象外
	:	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	:	エアゾール	分類対象外
	:	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	:	高圧ガス	分類対象外
	:	引火性液体	分類対象外
	:	可燃性固体	分類できない
	:	自己反応性化学品	分類対象外
	:	自然発火性液体	分類対象外
	:	自然発火性固体	区分外
	:	自己発熱性化学品	区分外
	:	水反応可燃性化学品	区分外
	:	酸化性液体	分類対象外
	:	酸化性固体	分類できない
	:	有機過酸化物	分類対象外
健康有害性	:	金属腐食性物質	区分外
	:	急性毒性(経口)	区分4
	:	急性毒性(経皮)	分類できない
	:	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
	:	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	:	急性毒性(吸入:粉塵)	分類できない
	:	急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
	:	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	:	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	:	呼吸器感作性	分類できない
	:	皮膚感作性	分類できない
	:	生殖細胞変異原性	区分2
	:	発がん性	区分2
	:	生殖毒性	区分2
	:	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(血液、肝臓)
	:	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(気道)
環境有害性	:	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	:	水生環境有害性・短期間(急性)	区分2
	:	水生環境有害性・長期間(慢性)	区分3
	:	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 飲み込むと有害
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
血液、肝臓の障害のおそれ
長期にわたる、または反復ばく露による気道の傷害のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き : 【安全対策】
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
環境への放出を避けること。
【応急措置】 → 【4 応急措置】の項目に記載
【保管】 → 【7 取扱い及び保管上の注意】の項目に記載
【廃棄】 → 【13 廃棄上の注意】の項目に記載

【3 組成及び成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物
成分及び成分情報 :

成分	含有量(%)	CAS No.	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
亜硝酸ナトリウム	2	7632-00-0	(1)-483	既存
ジエタノールアミン	4	111-42-2	(2)-302 (2)-354	既存
気化性防錆剤	11	あり	あり	あり
紙	83	—	—	—

【4 応急措置】

火災の場合には消火するために適切な消火剤を使用すること。
飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。
皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
暴露または暴露の懸念がある場合 : 医師の診察や手当てを受けること。
吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
漏出物を回収すること。
応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用すること。

【5 火災時の措置】

- 消火剤 : 初期火災には、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂等を用いる。
大規模火災には、霧状水、粉末消火剤を用いる。
- 火災時の特定危険有害性 : 当該製品は加熱すると分解して窒素酸化物を含む有害ガスを発生する可能性があるため、消火活動の際には煙を吸入しないように注意する。
- 特有の消火方法 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
周辺火災の場合に移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火のための放水等により、環境中に製品が流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 状況に応じて保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等)を着用し、当該製品の吸入や直接接触を避ける。
風上から消火する。

【6 漏洩時の措置】

- 人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置 : 漏出した場所の周囲はロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
状況に応じて保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等)を着用し、当該製品の吸入や直接接触を避ける。
風上から作業する。
- 環境に対する注意事項 : 利用可能な任意の手段により、流出物が配水管または水路から河川等の環境中に流出しないようにする。
流出した場合は、直ちに流出物を回収する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 火花を発生しない電気掃除機、ほうき等の安全な道具で掻き集め、密閉できる空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 消防隊に警告して、漏出箇所と当該製品の危険・有害性を伝える。

【7 取り扱い及び保管上の注意】

- 取り扱い
- 技術的対策 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
- 局所排気装置・全体換気 : 局所排気下、または全体換気のある場所で取り扱う。
- 安全取り扱い注意事項 : 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
(可能な限り)水にて湿らせておくこと。
他の容器に移し替えないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
環境への放出を避けること。
- 保管
- 適切な保管条件 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って保管すること。
施設して保管すること。
直射日光を避け、換気のよい冷暗所で密栓して保管する。
炎、火花、若しくは高温体との接近、加熱、衝撃または摩擦を避けること。
- 安全な容器包装材料 : 保管容器は購入した製品の容器を使用し、みだりに別の容器に入れ替えない。

【8 暴露防止及び保護措置】

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度
- 日本産業衛生学会(2006年版)

ACGIH (2006年版)	:	設定されていない。
設備対策	:	TLV-TWA 2mg/m ³ (ジエタノールアミン) 蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設ける。 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	:	
呼吸器の保護具	:	必要に応じて防塵マスクを着用する。
手の保護具	:	不浸透性の保護手袋(ゴム手袋)を着用する。
眼の保護具	:	保護眼鏡(普通型眼鏡)を着用する。
皮膚及び身体の保護衣	:	長袖作業着を着用する。

【9 物理的及び化学的性質】

外観	:	
物理的状态	:	紙状
臭い	:	僅かなアミン臭
pH	:	データなし
融点	:	データなし
沸点	:	データなし
引火点	:	データなし
爆発限界	:	
下限	:	データなし
上限	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
蒸気比重(水=1)	:	データなし
比重	:	データなし
溶解性	:	
水	:	データなし
その他の溶媒	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数	:	データなし
発火点	:	データなし
分解温度	:	データなし
その他のデータ	:	データなし

【10 安定性及び反応性】

安定性	:	直射日光や窓際の明るい光等を当てると変質、変色することがある。
危険有害反応可能性	:	強酸、強塩基および強力な酸化剤、還元剤と接触して分解すると二酸化炭素および有毒な窒素酸化物を発生する可能性がある。
避けるべき条件	:	炎、火花、若しくは高温体との接近を避けること。
混触危険物質	:	強酸、強塩基、強酸化剤、還元剤。
危険有害分解生成物	:	燃焼、分解すると一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物等が発生する可能性がある。

【11 有害性情報】

急性毒性	:	下の別表より混合物の急性毒性(経口)の推定値として区分4に相当する値が算出される。
------	---	---

(別表)急性毒性(経口、経皮及び吸入)

成分	含有量(%)	急性毒性(経口)	急性毒性(経皮)	急性毒性(吸入:ガス)	急性毒性(吸入:蒸気)	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)
亜硝酸ナトリウム	2	区分3 (77mg/kg)	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない
ジエタノールアミン	4	区分外 (1613mg/kg)	区分外 (8810.5mg/kg)	分類できない	分類できない	分類できない
紙	83	分類対象外				

皮膚腐食性／刺激性	：	データなし
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	：	データなし
呼吸器感作性／皮膚感作性	：	データなし
生殖細胞変異原性	：	亜硝酸ナトリウムの区分(2)に基づき、区分2とした。
発がん性	：	ジエタノールアミンの区分(2)に基づき、区分2とした。
生殖毒性	：	亜硝酸ナトリウムの区分(2)、及びジエタノールアミンの区分(2)に基づき、区分2とした。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	：	亜硝酸ナトリウムの区分(1:血液)、及びジエタノールアミンの区分(1:肝臓)に基づき、区分2(血液、肝臓)とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	：	ジエタノールアミンの区分(1:気道)に基づき、区分2(気道)とした。
吸人性呼吸器有害性	：	データなし

【12 環境影響情報】

生態毒性	：	
魚毒性	：	データなし
甲殻類	：	データなし
藻類	：	データなし
その他の生物	：	データなし
残留性／分解性	：	データなし
生体蓄積性	：	データなし
土壌中の移動性	：	データなし
		水生環境有害性・短期間(急性)は、亜硝酸ナトリウムの区分(1)、及びジエタノールアミンの区分(2)に基づき、区分2とした。
		水生環境有害性・長期間(慢性)は、亜硝酸ナトリウムの区分(1)、及びジエタノールアミンの区分(3)に基づき、区分3とした。
オゾン層への有害性	：	データなし

【13 廃棄上の注意】

残余廃棄物	：	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、産業廃棄物処理業者に危険性、有害性を充分告知の上、処理を委託する。
汚染容器及び包装	：	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

【14 輸送上の注意】

国際規制		
IMDG(国際海上危険物規則)コード	：	非該当
ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針)／IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規則)	：	非該当
国内規制		
陸上規制情報	：	非該当
海上規制情報	：	非該当
航空規制情報	：	非該当
輸送の特定の安全対策及び条件	：	火気、高温を避ける
緊急時応急措置指針番号	：	非該当

【15 適用法令】

化学物質管理促進法	:	非該当
労働安全衛生法	:	非該当
毒劇物取締法	:	非該当
消防法	:	非該当
化審法	:	非該当
外国為替及び外国貿易法	:	非該当

【16 その他の情報】

参考文献	:	1) nite(製品評価技術基盤機構)・CHRIP(化学物質総合情報提供システム) 2) 職場のあんぜんサイト-SDS 3) 原料のSDS
記載内容の問い合わせ先	:	菱江化学株式会社 【1】参照

- * 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。また、この情報は新しい知見、試験等により改正されることがあります。
- * 注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。他の化学物質を混合したり、特別な取り扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を新たに講じた上で実施してください。
- * すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。